

「ふるさと住民登録制度活用ワークショップ」 実施要領

1 目的

令和8年度末「ふるさと住民登録制度」がスタートします。この制度は、進学や就職等で市外へ出た若者や、射水市に愛着を持つ市外のファン（ふるさと住民）と地域をつなぐ仕組みです。

このワークショップでは、単なる行政からの制度説明会ではなく、担い手不足などの課題を感じている団体向けに「ふるさと住民を受け入れるための具体的な実務」と、「ふるさと住民と一緒にやりたいことの言語化（プロジェクトづくり）」を行う実践的な内容で実施します。

地域活動における関係人口の取組は、地域側が無理をして負担を抱えたり、関わる側だけが楽しむような一方通行の形では長続きしません。地域側も外から来る人も「一緒にやれて本当によかった」と思えてはじめて、持続可能な仕組みになります。

このワークショップを通じて、「自分たちの活動に新しい風や協力者を取り入れたい」「外のファンと一緒に地域を盛り上げたい」とお考えの団体の皆さまとともに、互いにとって利益になる具体的な受け皿づくりを目指します。

2 対象者

関係人口（ふるさと住民）を地域活動の担い手として活用したいと考える団体・個人

3 日時及び会場

- ・日時 令和8年11月15日(日) 午後1時30分から
- ・会場 射水市役所本庁舎3階302会議室

4 内容

13:30 ~ 13:45	はじめに：制度が始まると、地域はどう変わるか
13:45 ~ 14:15	関係人口の実際 (来るのはどんな人で、何を求めているか／全国の例)
14:15 ~ 14:30	受け入れる側がつまりく3つのパターン
14:30 ~ 15:15	ワーク：外の人と一緒にやりたいことを書き出し、受け入れの形を1枚にする
15:15 ~ 15:30	共有・まとめ

5 講師(講義・進行)

林 博司 氏 株式会社 LOCUS RiDGE 代表取締役

講師略歴 2010年埼玉県北本市役所入庁。市民一体型シティプロモーション事業「&green、マーケットの学校・&greenmarket」に取り組み、北本市は17年ぶりの人口社会増を実現。また、市民提案型ふるさと納税型クラウドファンディング補助金制度を創設するなど、3年連続ふるさと納税埼玉県寄付額1位に押し上げる。

2018年地方自治研究賞最優秀賞、2021年シティプロモーションアワード金賞、地方公務員が本当にすごい!と思う地方公務員アワード、2022年全国広報コンクール内閣総理大臣賞受賞。同年北本市役所を退職し、パブリシンク株式会社を設立し独立。2022年10月より合同会社 LOCUS BRIDGE に参画。

著書：『自治体ふるさと納税担当になったら読む本』（学陽書房）
『公務員が定時で仕事を終わらせる55のコツ』（学陽書房）

6 参加申し込み

11月11日(水)までに、右の二次元コードまたは次の URL からお申し込みください。 <https://forms.gle/JNKQCgYYGHXBfXfU9>

